

三重の力を世界へ 世界から三重へ 未来を拓く地域共創大学

新興感染症、気候変動、食糧・エネルギー危機、国際紛争など、世界は様々な問題、課題に直面しています。我が国においては、急速な少子高齢化による人口減少に起因する地域の活力低下が、環境問題と共に大きな社会問題になっています。このように凄まじいスピードで社会が変化するなか、様々な問題・課題を乗り越え、豊かで幸せな新しい社会を拓いていくには、すべての人びととあらゆる組織がより良い社会の構築に向けて共創して行くことが求められます。知の拠点である大学は、その核の一つとして重要な責任を担っており、大学への期待はますます大きくなってきています。

このような状況下、三重大学は従来の大学運営と教育研究組織を根本的に見直し、今後の活動目標となる「三重大学ビジョン2030」を策定しました。本ビジョンは、令和4年（2022年）から令和12年（2030年）までを見据え、教育・研究・社会貢献・医療の各領域で、何を目標にして、それをどのように達成していくのかを示し、教職員がワンチームとなって大学改革に取り組む拠りどころとして取りまとめたものです。

三重大学にとって最も大切な基本理念は、国際社会との繋がりを深め、地域社会との連携を強化しながら、様々な地域・分野で活躍できる人材育成と、世界トップレベル及び独創的な研究を遂行することです。地域社会との共創の場として、また、地域創生のハブ機能を持つ高等教育機関として発展して行くことが重要になります。大学が有する「知」、「スキル」、「多様な繋がり」、「地域との価値共有」をもとに、ダイバーシティを尊重した教職員が一体となって力を最大限発揮することによって、大規模大学とは異なる、特色ある大学へと成長

を遂げ、地域社会を発展させる原動力になることを目指します。

教育においては、従来から重点を置いてきた「感じる力」「考える力」「コミュニケーション力」に「行動する力」を加えた、総合的な「生きる力」を修得することによって、地域や世界の諸課題を発見・解決する人材を育成します。さらに、環境・SDGsや防災・減災に関するリテラシーをはじめ、DX（デジタルトランスフォーメーション）、AIの活用や数理データサイエンスなど、文理横断的に活動し続ける人材を、行政や企業、住民の皆さんにご協力頂きながら育成したいと考えています。

研究では、世界と伍するナンバーワン研究、地域に根差したオンリーワン研究を中心に、カーボンニュートラルへの転換を図るなど、地域イノベーションに繋がる研究を展開し、それらの成果を社会実装することで、地域共創、新しい地域づくりを先導する役割を担っていきます。

医療においては、三重県内の最後の砦として、三重大学医学部附属病院が高度な専門医療を展開すると共に、地域が必要とする医師、看護師などの医療人の育成にも努めます。また、今後特にその整備と活用が必要とされる医療DXを推進して行くことで、全国的に見ても先駆的なDX医療人材の育成と地域医療のスマート化を進めます。

このように、三重大学は、世界と繋がる地域共創活動に真摯に取り組み、未来を拓く教育研究拠点として世界が注目する地域共創大学を目指します。

三重の力を世界へ 世界から三重へ 未来を拓く地域共創大学

1 教育

地域・社会・世界とのつながりを通して、
行動する力を引き出す教育

- 行動する力で地域をけん引する人材の育成
- 新たな価値の創出マインドを持つ人材の育成
- 地域の社会人に学びの機会を提供するリカレント教育の拡充

2 研究

社会共創を支える多様で独創的な研究

- 世界トップレベルを目指す特色ある先端研究
- 社会課題解決を目指す応用研究
- 未来を拓く多様な基礎研究
- 分野を超えた横断的大学院

3 社会貢献

三重モデル地域創生

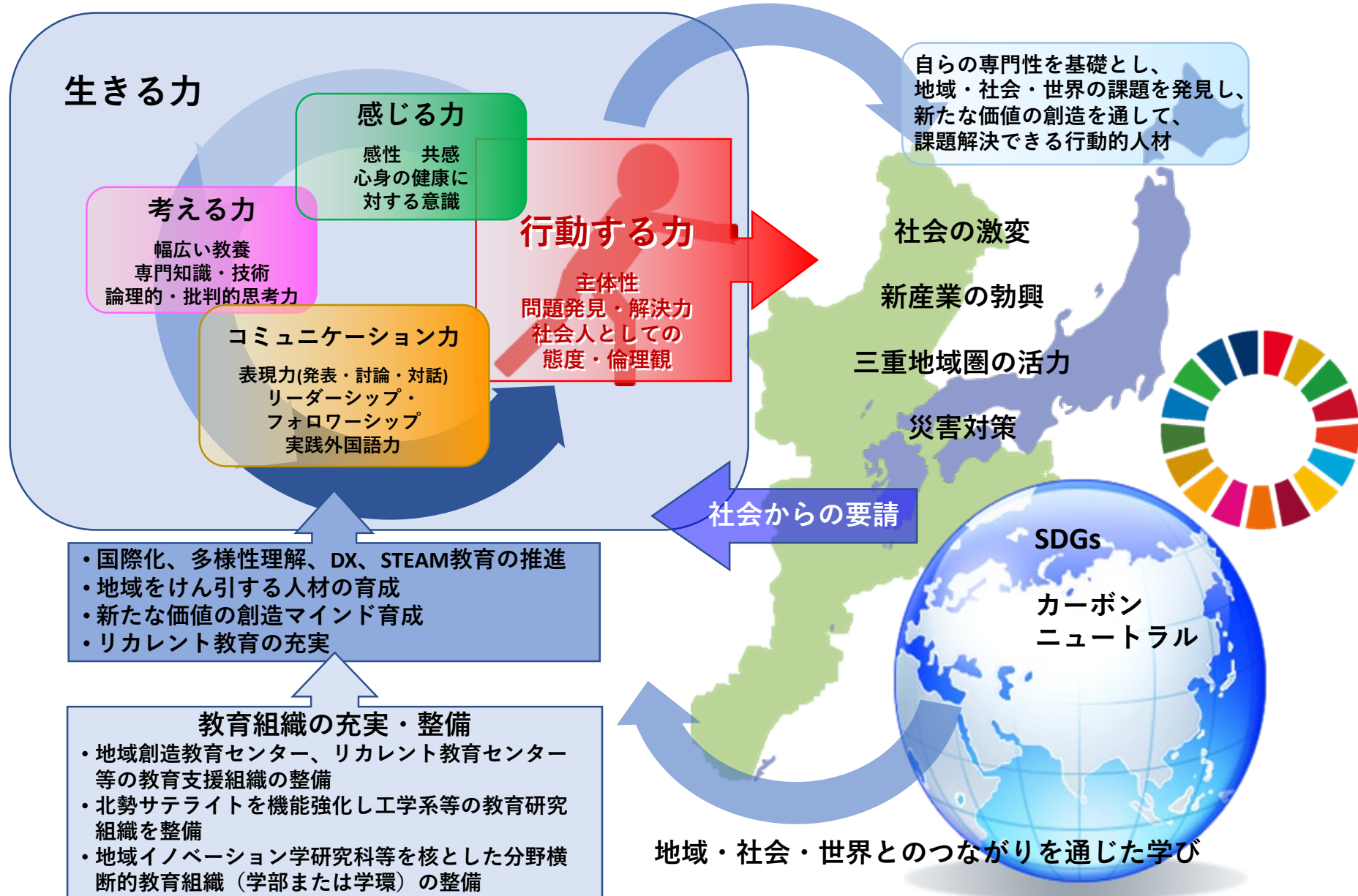
- 先端技術の社会実装とそれを活用した新たな社会価値の創出
- 地域課題解決・地域文化発展
- 安心・安全・快適な社会の形成


4 医療

先端医療の実施と医療人育成による
地域医療の発展

- すべての県民への質の高い医療の提供
- 医療人の育成
- 最先端医療の研究推進

地域・社会・世界とのつながりを通じた行動





①世界トップレベルを目指す 特色ある先端研究

- 世界トップを目指す先端研究
 - ・半導体、次世代電池、グリーンイノベーション等
- オンリーワン研究、特色ある研究
 - ・忍者、海女、鯨類、気象等
- 新たな研究分野の発掘、育成




②社会課題解決を目指す応用研究

- 研究展開組織の整備
 - ・みえの未来図共創機構等による産官学連携プラットフォーム活動の強化
 - ・カーボンニュートラル、次世代産業、スマート・持続的農林水産業、健康、食、観光、教育DX等
 - ・三重県と連動した防災・減災研究・教育
- 工学系等の新教育研究拠点の整備

研究を牽引

三重大学が未来に拓く
研究による社会共創

研究力の基盤

- 
- 多様な基礎研究を育む支援
 - ・研究基盤推進機構
 - ・外部資金獲得支援
 - ・若手研究者支援

■エビデンスに基づく研究支援マネジメント

③未来を拓く多様な基礎研究

- イノベーションを促進する教育研究体制
 - ・理系大学院の連携強化
 - ・文理融合型博士課程の整備
 - ・国際化、大学院生の支援・ポスドク受け入れ



④分野を超えた横断的大学院

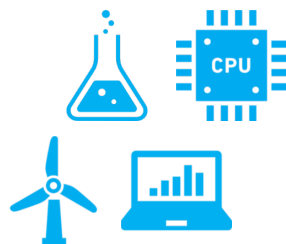
地域との共創、協働による「三重モデル」を三重から全国へ、世界へ

みえの未来図共創機構

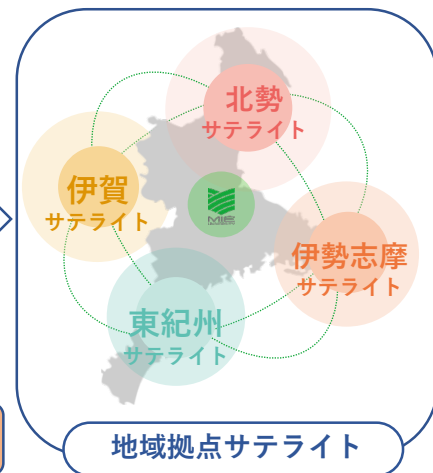
産業の未来図

先端技術の社会実装とそれを活用した新たな社会価値の創出に取り組みます

- 先端的研究の社会実装に向けた産学連携
- 次世代通信・デジタル技術の活用
- 新産業転換への取り組み
- 循環型社会の形成・創出



地域創生・社会実装



地域共創展開センター
におけるプロジェクトの推進



日本の地域モデルの未来図

地域の豊かな資源と特色ある文化を生かした地域課題解決・地域文化発展に取り組みます

- 地域文化研究の発信
- 農林水産業の諸問題の解決
- 学生の参画による地域活性化
- 教育課程の解決
- 医・食・住の課題解決

持続可能社会モデルの未来図

暮らしやすい社会を目指した安心・安全・快適社会の形成に取り組みます

- 医学・医療DXへの取り組み
- 災害時の医療・看護
- 防災意識の向上と人材の育成
- 国土強靱化に資する教育研究

